

日光東照宮宝物館について

1. 旧宝物館

鉄筋コンクリート造り2階建て 一部地階 和風様式 床面積合計1451.73㎡
築40年を経て劣化が激しく、様々な欠陥が指摘され国宝・重要文化財等借用不可。

旧宝物館は昭和40年の350年式年大祭の記念事業として建立。東照宮、二荒山神社、輪王寺の共有地に建てられ三者で共用していたが、後に東照宮の単独使用となる。共有地は二社一寺からの距離が等しくなるようにとの目的で選定された。このため東照宮参拝の導線からはやや外れていた。

緑豊かな敷地環境は、展示鑑賞施設として相応しかつたが、位置の分かりやすさ、集客性に問題があった。

入館料：大人500円 高校生300円 小中学生 200円

入館者：年間約5万人。

2. 新宝物館

建築面積 1160㎡ 延床面積 1898㎡ 高さ13.0m

平成27年3月13日オープン。

平成27年は東照宮の四百年式年大祭の年にあたり、記念事業として建立。豊かな自然環境や絢爛豪華な社殿群に調和するよう、特に屋根の形は東照宮の御社殿と同様に和風様式の切妻流れとした。全館バリアフリー。

収蔵・展示という基本的な設備の充実のみならず、東照宮の永遠のテーマである建造物修理事業や、千人武者行列に代表される祭事並びに日光杉並木などを紹介する「東照宮案内」のコーナーを設けた。当宮と凸版印刷㈱の共同でバーチャルリアリティー映像『国宝 陽明門』を製作。また家康公を紹介するアニメーションも製作し、両作品をシアタールームで上映している。館内の展示解説やサインは基本的に日本語、英語の二か国語表記としている。

カフェも備えており、現在「上島珈琲店」が営業している。

東照宮大駐車場から境内への途中にあり、表参道に面する立地性、集客性の高さ、位置の分かりやすさ等、集客施設の敷地として相応しい場所にある。

入館料：大人1000円 小中学生500円 境内拝観券とのセット料金あり

入館者：平成27年3月13日開館以降11月末迄で約16万人。

以上